

第51回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成17年5月28日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)



テーマ 8月24日・TX開通!! 変わる変わるつくばが変わる!!
つくばの街の「グランド・デザイン」はどうなるか?

講 師 つくば市長
市 原 健 一 氏

「つくばエクスプレス」が8月24日に開通することになりました。秋葉原とつくばを45分で結ぶ新線です。秋葉原の駅周辺は、世界のIT産業の拠点を目指している街です。また、TX乗り入れにより、研究学園都市つくばと秋葉原が直結し、産学提携のセンターにもなりそうな気配もあります。

一方、つくばの街を見ますと、住宅公団の買収した土地が民間に払い下げられてマンションが建設され、ほぼ即日完売の状況と聞いています。近隣の市町村に家を建てた人々が、つくばターミナル周辺の新築マンションに住居を買い替える「つくば回帰」現象も耳にする昨今です。マンション建設ラッシュと、TX開通に一步先がけてオープンした駅周辺のショッピング街の出現、交通量の急増などを見ると、この街はこれからどのように変わっていくのか、住民にとっては、便利になる嬉しさの反面、将来が少々不安になってきました。

つくばの街が将来良い街、誇れる街であってほしい!これが住民の偽らざる気持ちだと思います。世界に名を知られた街つくばが、街づくりの上でもそうあってほしいものです。これからの街づくりの構想を行政のトップである市原市長さんからお聞きして、私たち住民も共に考えてみるのはいかがでしょうか?

興味をお持ちの方、ご参加ください。皆様のご来場をお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事 務 局 つくば市市民活動課 文化振興係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第52回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

回覧

日 時 平成17年7月23日（土）午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)



テーマ 30年前陸の孤島だったつくば！今では県南の中心街！！
筑波研究学園都市今昔物語

講 師 元「筑波の友」編集長・現在出版社経営
竹島茂氏

「筑波研究学園都市閣議諒承（昭和38年）」から今年で42年の歳月が経過しました。つくば市は、市制施行（昭和62年11月30日）から18年目に入り、今では県南の中心都市に成長し、今年8月24日には「つくばエクスプレス」の開通によりITセンターを目指している秋葉原と45分で往来出来ることになりました。しかもJapan. Tsukuba-Shiだけで世界中から郵便類も届くほど世界の人々にも知られるようになりました。

しかし、学園都市建設当初は、決してスムーズに工事が進んだわけではありません。第1期の新たな住民の移住が始まったのが昭和40年代の中頃、畑や原野・平地林の一部に突如コンクリートの宿舎が建設されました。移住して来た人々は「雨が降れば泥んこ道。晴れば土ぼこりでいっぱい。買い物したくても店はない。」でした。住民と行政で話し合いを重ね、共通の理解を得るまでには、双方涙ぐましい努力があったことは勿論であり、それには何年もの時間が必要でした。周辺の地域からは「研究学園都市は、本当に出来るのかな？陸の孤島ではないか？」という目で眺められていました。こうした状態が大きく変化したのは、1985年の「つくば科学万博」の開催でした。

ところで講師の竹島氏は、1983年にまだ未開発で整備中だった「つくば」を訪れたとき、なぜか興味を持たれ東京の住居をためらいもなくたたくて、見ず知らずの地「つくば」へ移住してこられた方です。東京で長い間小説を書き、傍ら一流の速記者として名を成していらっしゃいました。

つくばへ移住された竹島氏は自転車を使し、小説家そしてジャーナリストの目と足で創草期のつくばを確かめながら、今日まで、ある時は暖かい目でまたある時は醒めた視線でつくばを取材され、1986年から2003年まで月刊誌「筑波の友」を赤字覚悟で発行され、つくばから情報の発信をされました。つくばのオピニオン・リーダーの1人として欠かせない方であり、ジャーナリストの目で取材されたエピソードは私達が予想できないほどたくさんの興味深い話でいっぱいです。

興味をお持ちの方、ご参加ください。皆様のご来場をお待ちしております。

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事 務 局 つくば市市民活動課 文化振興係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第53回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成17年9月24日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)



テーマ 大人達は困惑しています！どのように考えたらいいのでしょうか？

「ひきこもり現象」って何ですか？

講 師 元放送大学講師 東京シューレ理事 シューレ大学

あさ くら かげ き
朝 倉 景 樹 氏

中国、台湾、韓国等へ行くと若者達はそれぞれに将来の夢を語ります。しかも、いきいきと瞳を輝かせて！しかし、成田空港へ着き、目にする日本の若者達の瞳からは輝きを失い、他のアジア諸国の青年達が持っていた若者らしい活力も感じなくなってしまって、もう何年経つでしょうか。

ある大学教授はおっしゃいました。「今の学生達は、物心ついた時には、バブルがはじけ、世の中の暗い話ばかり。夢を持ってと言っても無理ですよ。日本の活気のあった時代を知らなかったんだから・・・」と。しかも、身の廻りには、物が溢れ、日々の食事に事欠く人々も殆ど目にしません。何とか惰性で生きようと思えば生きられるのが、今の日本の状態です。

一方、親も学校もまだまだより良い大学へと目の色を変え、学歴社会の風潮は改まりません。2年3年後には、大学全入の時代すら到来することになっているのですが・・・。

戦後60年の間に、日本人は焦土から立ち上がり、努力して働いて働いて世界有数の経済大国になりましたが、国土は狭く資源は乏しい国です。財産は、一億二千万人の国民です。その大切な人的資源ともいべき若者達が夢も持てず、他人とも交われず、「ニート現象」や「ひきこもり」を起し、果ては家族の殺傷事件や理由のない殺人、集団自殺事件を起しています。

どうしたら改めて日本人が再び立ち直れるのか？常々若者の悩みの相談を受け、彼等と接している講師からお話を聞き、共に考えて見たいと思います。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事 務 局 つくば市市民活動課 文化振興係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第54回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

回 覧

日 時 平成17年11月19日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)



テーマ 産まれると神社へお宮参り！結婚式はキリスト教風！死ぬ時はお寺さん？

日本人の宗教って何でしょうか？

講 師 東洋大学教授 前筑波大学教授

たけむら まきお
竹 村 牧 夫 氏

日本では、終戦を境に人々の意識が変わり、かつては庶民の心の拠りどころであった地域の神社の前を通っても人々は無関心に通り過ぎ、歴史のある仏閣も信仰の対象というより、そこに存在する仏像の美術的観賞という点に重きを置かれているのが現状です。そして、死者への供養の諸行事も形骸化・簡易化されつつあるように思われます。都会の若い世代では、お盆は夏休みを兼ねた里帰りに姿を変え、お盆の供養も一種のファッションになってはいませんか？子供の七五三のお祝いに到っては、ホテルを使ってミニウエディングセレモニーのような賑々しいパーティになっている例すら見聞きします。婚礼は式場が用意したチャペル風キリスト教風セレモニー。人生が終わると何の疑問も抱かずお寺さんに！しかも、クリスマスにはキリストの話も出さずサンタのプレゼントとケーキ！これが戦後60年の日本の風俗です。一方、歴史をかえりみれば、日本でも時の権力者による弾圧にも屈せず神に殉じた沢山のキリシタン殉教者、信長の焼き討ちに合掌しつつ信仰に命を捧げた叡山の高僧、流罪刑を受けた若き日の日蓮、戦争中迫害を受けたキリスト者等々あります。現代の日本人の宗教について、長い間仏教史の研究をしていらっしゃる講師のお話をお聞きして、改めて日本人にとっての宗教を考えてみたいと企画をいたしました。若者が夢を持たないのも「心の拠り所」がないから？とも思われます。しかし、昔から日本には「困ったときの神だのみ」ということわざもありますね。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会

事 務 局 つくば市市民活動課 文化振興係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第55回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

回覧

日 時 平成18年2月18日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)



テーマ 歌舞伎は日本のオペレッタ!!

お能は日本のオペラです その楽しみ方パート4

講 師 能楽師
橋 岡 伸 明 氏
はし おが のぶ あき

過日、免疫学者多田富男氏が、病を得て辛いリハビリを克服し、原爆をテーマにした新作能を書き、その舞台稽古にまで立ち会い、壮絶とも想える様子で役者達に駄目出しをなさっているドキュメントをNHKテレビで目にしました。病におかされた一人の学者をこのように「捕らえて離さない能!」。日本では、昨年も歌舞伎の大名題の襲名が続き、歌舞伎座のチケットはS席から(多分2万円台もする)売り切れ!即日ソールド・アウトで、なかなか手に入らないほどの人気でした。すでにみなさんご承知の通り、お能は長年武家社会(特に大名達)により支えられた日本の伝統芸能です。歌舞伎は庶民の楽しみとして、京の四条河原の素朴な歌舞から始まっています。人気演目の中には「勸進帳」「黒塚」等々、もともとは能の扱っていた題材をも、もっと華やかに派手に庶民が「ワイワイ」と楽しみながらしかも食事をしながら、観て楽しめるように大衆化してきたものも決して少なくありません。一方「能」は今でも、一部の人々が観に行く伝統芸術の域を出ず、大衆化しているとはとても想えないのが現実です。「難解である」「高尚すぎて近付き難い」と観られているようにも見えます。橋岡氏は、その「能」の裾野を拡げ、沢山の人間、特に若者にも楽しめるようにしたい!と努力をしている若き能役者です。今回はどんな趣向で私達を驚かせ、楽しませてくれるのでしょうか?今回は、「黒塚」の「くもの糸」を実際に楽しませて下さいました。「能」は日本のオペラです。どうぞご参加いただき、ごいっしょに楽しみましょう!!

土曜知床

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事務局 つくば市市民活動課 文化振興係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

**** お知らせ ****

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第56回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成18年5月13日(土) 午後2時から4時

場 所 つくば西武ホール
(つくば市吾妻 筑波西武百貨店6階)



テーマ 「TXでつくばの街おこし! -とんでもない!つくばは世界の注目の街です-」

御存知ですか?つくばは世界有数の宝島です!!

講 師 独立行政法人産業技術総合研究所 先進製造7 地研部門 集積加工研究グループ長
あけ 明 渡 純 氏

「JAPAN・TSUKUBA-SHI」, 或いは「日本国・つくば市」という住所書きで外国郵便が個人の家まで届いてしまう。今, つくば市はそういう街です。東京, 横浜, 京都等日本を代表する大都市ならいざ知らず, わずか人口20万余りのしかも誕生20年に満たない地方都市では, まれな存在です。つくばは, かつては48の国立研究所, 三つの国立大学から出発し, 民間研究所も段々増えその数も200を越えるようになりました。しかし, 国立大・国立研究所は最近統廃合・独立行政法人化され数は少なくなりました。しかし, 40年近い年月の経過の中でそれぞれの研究機関での研究開発の集積は, はかり知れないほど大きなものになっています。

つくばの各研究機関の実績はイコール「つくば研究学園都市」の他の街に追随を許さない大きな財産とも言えます。その財産を住民はどこまで知っているのでしょうか?“もったいない!!”話ですね。

TX開通もそのようなつくばの最先端科学技術の集積の大きさを外国の方が先に察知し, 日本自体は後から気付かされているように感じます。“デフレ不況”の最中でしたが, 21世紀最初で最後の鉄道建設と言われたTXの開通もそれで可能になったのではないのでしょうか?“TXで街おこし!”などと考えていらっしゃる方も多いようです。

実は“つくばは最先端科学技術開発の集積が山ほどある宝島”なのです。それがどんな宝なのか?素人には理解しにくいことも事実です。そこで, ナノテクノロジー-材料開発の研究に取り組み, 外国を含め東奔西走していらっしゃる講師に, 素人にもわかるようにお話をさせていただこうと本講座を企画いたしました。産業工業用ロボット, 災害地の人命救助用ロボット, そして介護用ロボットも“つくば発”ですね!更に地震・防災に関する研究機関もありますね。

古くは, 古事記・万葉の時代から伝統文化を育んで来た文化もつくばにはあります。何と恵まれた街でしょうか!新旧文化の共存する宝島が“つくばの街”なのです。

今回は会場が, 筑波西武6階にあります「つくば西武ホール(旧キネカ1)」になります。お間違えのないようにお願いします。

入場料は無料です!多くのみなさまの御参加をお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事務局 つくば市市民活動課 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

* * お知らせ * *

駐車場は有料駐車場のご利用となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので, お早めにお越し下さい。

第57回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成18年7月15日(土)(第1部)午後2時(第2部)午後3時

場 所 筑波西武「クラブオンコート」
(つくば市吾妻 筑波西武百貨店3階)



テーマ 「これは驚き!科学の街つくば・・・シャンソンもピッタリ!」

7月15日・パリ祭翌日ーつくばでシャンソンを!!

講 師 シャンソン歌手(元宝塚歌劇団雪組スター)

牧 美 佐 緒 氏

7月14日はパリ祭です。パリと日本の時差は約8時間。日本の7月15日午後2時は、パリでは7月15日の早朝6時ごろでしょうか。パリのショーは夜11時ごろから始まり、明け方の3時から4時ごろまで続くお店も多く、帰宅は早朝となることも多いですね。

帰宅して一眠りするか、またパリ祭のショーの余韻を楽しむ人、お酒でポーっとしている人もいるかもしれません。

今回は、今までと少々趣向を変えまして、土曜日の昼下がりのひととき、シャンソンのサロンコンサートを企画いたしました。

つくばには、全国各地からさまざまな専門家が集まって来て住んでいらっしゃいますが、現役のシャンソン歌手で元宝塚歌劇団雪組スターの牧美佐緒さんが十数年このつくばにお住まいでした。このたび、牧さんが快良く友情出演を受けて下さいました。牧さんのシャンソンを楽しみながら、トークもともにお聞きするも一共と考えました。もちろん、30分ほどの牧さんとのQ&Aもご用意いたします。場所はピアノのある会場が限られていますので、筑波西武百貨店のご好意で、同店3階のクラブオンコートになりました。

会場をお間違えのないようにお願いします。

入場料は無料です!多くのみなさまの御参加をお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会

事務局 つくば市市民活動課 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

**** お知らせ ****

駐車場は有料駐車場のご利用となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第58回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

回 覧

日 時 平成18年9月23日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会講室
(つくば市吾妻 つくばセンタービル内)



テーマ 手抜き工事はマンションだけではありません!!

あなたのお宅の耐震強度は大丈夫?

講 師 国土技術政策総合研究所住宅情報システム

けんきゅうかん こ ばやし ひで ゆき
研究官 小林 英之 氏

マンションの強度を無視した手抜き工事で、あれほど日本中のマンション居住者に恐怖を与えた姉齒元一級建築士の件も日が経つと後発する様々な事件の発生でTVニュースからも新聞紙面からも姿を消しています。それだけ次々に起こる事件が多いということなのか?それとも、日本人は一過性の民族なののでしょうか?これからは後始末が大変なのに、話題性が失われるということは、被害に遭われた方々にとっては世論が振り向かなくなることは、やはり心細いことで悲しいことではないのでしょうか?

ところで、戸建建売の耐震強度・注文住宅でも素人の施主にとって、出来上がりは大丈夫なのか?住んでいる我が家の耐震強度がどうなのか・・・?

これはとても「こわい」話です。改めて、それぞれの方々が「我が家の耐震強度について調べてみる必要がありはしないでしょうか!」

幸いつくばには今のところ活断層はありません。しかし、大正11年には、竜ヶ崎で直下型のマグニチュード7.9の大地震が起こっていたのです。翌年に起こった関東大震災に吸収されてご存じない方が多いのが現実のようです。

講師のお話を参考に、皆様、安心して住める「我が家」にするのに何が必要か?考えてみましょう。そして、無事な人生を送りたいですね。9月は防災月間です!!

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事 務 局 つくば市市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

＊ ＊ お 知 ら せ ＊ ＊

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第59回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

日 時 平成18年12月9日(土) 午前10時から12時



場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル内 電話852-6789)

テーマ 定年=第2の現役?も夢ではないかも

**2007年団塊の世代の定年が始まる!!
そして少子化加速-日本はどうなるのでしょうか!**

講 師 法政大学経営学部教授・元筑波大学非常勤講師

まつ しま しげる
松 島 茂 氏

日本は、少子化傾向が加速し、戦後の経済を長年支え続けて来た団塊の世代の定年が、来年から始まります。定年を迎える人々が、その後の日々をどう過ごすか? 企業戦士であった夫達と妻達との間の意識のズレ。夫達の生き甲斐探し。個人的には種々な問題が浮上りつつあるようです。一方日本経済全体からみたら、別の面が見えて来るようにも思えます。60歳という年齢は50年前の60歳とは違います。体力・気力共に10歳以上若くなっています。長い間それぞれのジャンルの企業活動の中で、共に「シノギヲケズッタ」経験・努力・研究等の積み重ねはしっかりと身につけ、一つの能力になっています。

物的資源の乏しい日本にとって、大切な一番の資源は一億二千万人弱の国民一人一人の能力です。したがって、団塊の世代の定年の始まりは、各企業の中で働いていた人々が、所属していた企業から離れて、自由に異業種の人々と新しい何かを産み出す「キッカケ」を作りはしないでしょうか? お互いの能力を今までとは違うロケーションで仲間として活用し合う場を作る。勿論、行政も税収の可能性があるので手を貸すことは必要になって来るでしょう。大企業に依存しなくても、新しい経済活動の場が開ける可能性はないでしょうか? 中小企業論の研究者として、現場主義をモットーに活躍していらっしゃる松島先生のお話を伺いながら、前向きにみなさんごいっしょに考えてみませんか? 幸いつくばは沢山の研究機関を持っています。私たちの予想を越えた種々な新しい研究結果が生まれています。それをつくばの地で、製品化出来るようなシステムがもしかしたら出来るかも知れません。つくば研究学園都市は何しろ宝島ですから!! 定年=第2の現役の誕生になると良いですね!!

* 皆様のご来場を心よりお待ちしております。なお、今回は講座開始時間が午前10時からとなりますのでお間違えなく。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事 務 局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。

第60回つくば人間学講座

毎 回 入 場 無 料

回 覧

日 時 平成19年2月10日(土) 午後2時から4時

場 所 つくばインフォメーションセンター 大会議室
(つくば市吾妻1-10-1 つくばセンタービル内 電話852-6789)



テーマ”あなたの老後は大丈夫?”

介護保険・現場からの報告 パート4

講 師 神立病院看護部長・ケアマネージャー

ひろ せ さち こ
広 瀬 幸 子 氏

介護保険制度が施行されて6年の歳月が経過しました。当初、国民年金を満額に近く受給していれば、特別養護老人ホームへ入居出来ました(月額3万円~4万円)。しかし、その後幾度かの制度の見直し(平成17年10月、平成18年4月改正)を経て、現在では月額11万円余の支払いが出来ないと、特養にも入居出来ないのが現実のようです。皆さんご存知でしたか?

国民年金を満額給付される人でも、六万数千円です。国民年金のみの受給高齢者はとても手が届きません。厚生年金、共済年金の受給者でも、夫婦の片方が自宅介護が無理になったら、残された配偶者の生活はやって行けないのではないのでしょうか?

子供達の親に対する扶養義務は民法上の義務でもありますが、子の親の扶養義務は、第二次扶養義務です。子供達の所帯の生活が成り立った後、負担することが可能な義務なのです。自宅介護が無理だから施設へ入居を希望するのが実状なのに“介護の沙汰も金次第”ということなのでしょう。しかも、特養への入居者は施設が少なく、順番待ちが続いているそうです。更に費用の減額制度もありますが、高齢者にそれが出来るのでしょうか?交渉能力の問題もあります。目の前が真っ暗になるような話ですね。

自分達の老後(誰にでも平等に来る)のケアの現実を直視して、どのように対処したらよいか?を含め、高齢者も若者も共に事実を知ることから始めることが必要ではないのでしょうか?講師から、介護の実状をお聞きして、考えてみようではありませんか!!

*皆様のご来場を心よりお待ちしております。

*** 予約等は必要ありません 当日ご自由にご来場下さい ***

主 催 つくば市、つくば人間学講座実行委員会
事 務 局 つくば市 市民活動課 市民活動係 (TEL: 029-836-1111 内線5144)

* * お 知 ら せ * *

駐車場は有料となります。

土曜日は駐車場が混雑いたしますので、お早めにお越し下さい。